

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-154	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2東書	コ I 329	Power On English Communication I		

1. 編修の趣旨及び留意点

グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材を育成するために、以下のことに留意しています。

- 情報や考えなどを的確に理解したり，自分の考えを適切に伝えたりする英語力を身につけること
 - その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと
- 文法・読解に偏せず，日常的・実践的なコミュニケーションの指導ができるように題材を選定し，生徒が英語をアウトプットする機会をふんだんに用意しました。

2. 編修の基本方針

基本方針

1

「聞く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に育成する。

- ・各Lessonは，本文と本文を踏まえた練習問題などから成る見開き（Part）で構成されています。各Partの練習問題などでは，本文の内容把握や文法学習などを通して，基礎的なコミュニケーション能力を養うことができます。
- ・各Lessonのまとめとして，Summary（要約）やChallenge！（聞く，書く，話す，の統合活動）を設けました。表現活動に重点を置いたコミュニケーション能力を養うことができます。

基本方針

2

教えやすく，学びやすい構成とする。

- ・Lessonのテーマや表現活動にリンクした学習目標を各Lessonのはじめに提示し，教師と生徒の目標の共有化を図りました。
- ・本文は，一般的な授業の流れに沿ってPart分けされています。Partごとに，本文の内容把握と文法学習を行うため，無理なく，効率的に学習できます。
- ・自己学習力の養成に役立つ基礎的な知識・技能を提示し，「生涯にわたって自ら外国語を学び，使おうとする積極的な態度」を育てることができます。

国際社会に通じる発信力を高められる題材を扱う。

- ・前半部（Lesson 1～Lesson 5）では、身近な題材を通して、日本の伝統・文化に対する理解を深め、国際社会の中で生きる日本人としての思考力，判断力，表現力の育成を促すことができます。
- ・後半部（Lesson 6～Lesson 10）では、世界の文化や人物を広く取り上げ、さまざまな価値観を学ぶとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができます。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
Lesson / Reading	<ul style="list-style-type: none"> ①各 Lesson で取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、広い視野を育成します。（第 1 号） ②Reading では生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、互いを思いやる心と道徳心を培うように配慮しています。（第 1 号） ③各 Lesson の Express Yourself! に設けた Hints! で、豊かな自己表現を促します。（第 1 号） ④英語活用力 Up コーナーでは、実際の言語の使用場面を踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。（第 2 号） ⑤実在する人物が、将来の夢を実現するまでのストーリーを取り上げ、主体的な生き方について考える機会を設けています。（第 2 号） ⑥ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、協力し合う心を育みます。（第 2 号） ⑦男性、女性をバランスよく取り上げ、男女どちらも社会に参画している姿を示しています。（第 3 号） ⑧自然を大切にしたり、環境保全に心がけたりするような題材を取り上げています。（第 4 号） ⑨外国の生活や文化を紹介し、他国への理解と尊重の心を育みます。（第 5 号） ⑩2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、我が国の伝統や文化について知り、それらを外国に向けて発信する力を養います。（第 5 号） 	<ul style="list-style-type: none"> ①各 Lesson ②Reading ③p.21 など ④pp.144-146 ⑤Lesson 3, Lesson 6 など ⑥各 Lesson の Practice など ⑦p.55 など ⑧Lesson 5 など ⑨Lesson 9 など ⑩Lesson 1, Lesson 4 など
コラム類	<ul style="list-style-type: none"> ①英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。（第 1 号） ②日本の年中行事や地域を紹介するスピーチを扱っています。（第 5 号） 	<ul style="list-style-type: none"> ①Pre-Lesson など ②pp.56-57 など

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

観点	留意点	具体例
①教育基本法の遵守	<p>①グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養おうとすることを目指しています。</p> <p>②世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、日本の伝統・文化に関する題材を豊富に取り上げています。</p>	<p>①Lesson 3, Lesson 5など</p> <p>②Lesson 1, Lesson 4など</p>
②学習指導要領の遵守	<p>①Lessonを経るごとに、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力」を伸ばせるように、題材や練習問題が選択・配列されています。</p> <p>②生徒が自分の言葉で英語をアウトプットする活動を取り上げ、コミュニケーションの機会を豊富に用意しました。</p>	<p>①Lesson 1～Lesson 10</p> <p>②LessonのExpress Yourself! など</p>
③内容・配列・分量	<p>①言語材料は、1つのPartに1つに限定し、学習負担を考慮しています。また、既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度をあげているため、無理なく英語力を習得できます。</p> <p>②各Lessonは、写真資料などからの導入、理解、演習、整理、発展の順に編集されており、効率的に学習できるように配慮されています。</p> <p>③本文は、一般的な授業の流れに沿ってPart分けされています。Partごとに、本文の内容把握と文法学習を行うため、無理なく、効率的に学習できます。</p>	<p>①Lesson 1～Lesson 10</p> <p>②Lesson 1～Lesson 10</p> <p>③Lesson 1～Lesson 10</p>
④評価（CAN-DO）	<p>①各Lessonの第1ページのGoals of the Lesson（題材のテーマに関連した学習目標）を受けて、Challenge!では言語活動を通して、そのLessonにおける目標の達成度を確認することができます。</p>	<p>①Lesson 1～Lesson 10</p>
⑤英語で授業を行うための配慮	<p>①本文の内容把握の英問英答や本文全体の要約を完成させて音読させるなど、生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。</p>	<p>①Lesson 1～Lesson 10</p>
⑥中学校との関連	<p>①中学校英語からのスムーズな接続のために、Pre-Lessonや辞書ガイドを用意し、5つの文構造や辞書の引き方などを扱います。</p> <p>②学習段階に応じて、平易なものから難しいものへと段階的に学習・指導できるように配慮しました。Lesson 1からLesson 5までは中学校の文法事項の復習も兼ね、高校英語への橋渡しという点に特に留意しています。</p>	<p>①Pre-Lessonなど</p> <p>②Lesson 1～Lesson 5</p>

<p>⑦ 伝統・文化の取り上げ方</p>	<p>① 日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め、日本を世界に紹介する意欲を促すことができます。</p> <p>② 言語を文化ととらえ、英語の基本的な文構造の学習を通して、日本語との違いに気づきを与える活動を取り扱っています。</p>	<p>① pp.56-57など</p> <p>② Pre-Lessonなど</p>
<p>⑧ 自然科学の取り上げ方</p>	<p>① 英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。</p>	<p>① Lesson 2など</p>
<p>⑨ 家庭学習・自学自習への配慮</p>	<p>① 辞書の引き方、接頭辞・接尾辞などが扱われています。</p>	<p>① 辞書ガイドなど</p>
<p>⑩ 文字・印刷・製本</p>	<p>① 活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。</p> <p>② 製本は堅牢で、開きやすい様式です。</p> <p>③ 図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインになっています。</p>	<p>① 全体</p> <p>② 全体</p> <p>③ 全体</p>

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-154	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2東書	コ I 329	Power On English Communication I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

グローバルな舞台で活躍するために必要とされる、
英語力の基礎を身につけられる教科書です。

1 「聞く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に育成する。

- 各Lessonは、本文と本文を踏まえた練習問題などから成る見開き（Part）で構成されています。各Partの練習問題などでは、本文の内容把握や文法学習などを通して、基礎的なコミュニケーション能力を養うことができます。（下記参照）
【練習問題などの例】
Questions: 英問英答による本文内容の基礎事項の確認
Comprehension: マッチングや表完成などによる本文内容の確認
Dialogue: 本文（モノログ）をダイアログ形式への書きかえ
Summary: 本文のサマリー完成
- 各Lessonのまとめとして、Summary（要約）やChallenge！（聞く、書く、話す、の統合活動）を設けました。表現活動に重点を置いたコミュニケーション能力を養うことができます。
- 「聞く」ことについては、各LessonのChallenge!でListeningを扱っています。また、英語特有の音声の特徴については、コラム「Sounds Interesting!」で、例示付きで扱っています。英語の聞き取りだけでなく、発音する際にも参考になる内容です。
- 「話す」ことについては、スピーチの際のポイント（Speech Skill）を、コラム「Let's Make a Speech!」で取り上げています。
- 「読む」ことについては、さまざまな形式の英文に触れられるように配慮しました。各LessonとReadingでは、エッセイ、スピーチ、論説文、小説などを扱っています。
- 「書く」ことについては、コラム「Paragraph Writing」で、英語のパラグラフの特徴について、タスク付きで扱っています。

2 指導しやすく、学習しやすい構成とする。

- Lessonのテーマや表現活動にリンクした学習目標を各Lessonの始めに提示し、教師と生徒の目標の共有化を図りました。

- ・本文は、一般的な授業の流れに沿ってPart分けされています。Partごとに、本文の内容把握と文法学習を行うため、無理なく、効率的に学習できます。
- ・自己学習力の養成に役立つ基礎的な知識・技能を提示し、「生涯にわたって自ら外国語を学び、使おうとする積極的な態度」を育てることができます。
- ・教科書全体を大きく、3つに分け、徐々に難易度が上がるようにしました。(下記参照)

【教科書の全体構成】

Pre-Lesson
基本事項の確認



Lesson 1～Lesson 5



Lesson 6～Lesson 10

題材のキーワード：Local

題材のキーワード：Global

文法：中学校の復習

文法：高校新出事項

本文語数：約 250 語～350 語

本文語数：約 350 語～500 語

3

国際社会に通じる発信力を高められる題材を扱う。

- ・前半部のLessonでは、身近な題材を通して、日本の伝統や文化に対する理解を深め、国際社会の中で生きる日本人としての思考力、判断力、表現力の育成を促すことができます。
- ・後半部の Lesson では、世界の文化や人物を広く取り上げ、さまざまな価値観を学ぶとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができます。

4

学習負担に配慮した構成とする。

- ・言語材料の配列については、中学校の復習を行うとともに、平易なものから難しいものへと段階的に学習・指導できるよう配慮しました。
- ・言語材料は、1つのPartに1つに限定し、学習負担を考慮しています。また、既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度をあげているため、無理なく英語力を高めていくことができます。
- ・冒頭の Pre-Lesson では、Lesson での文法指導に役立つ「品詞」「文構造」「句と節」のような文法学習の基礎となる事項について、整理して扱っています。

5

実際の言語の使用場面を踏まえた活動を用意する。

- ・「注文書の書き方」や「クレームメールの書き方」など、実生活に生かすことのできるコミュニケーション活動を用意しました。
- ・各 Lesson の Challenge!では、リスニングで聞いた内容に自分の感想や考えを加えて発表する活動に取り組むことで、自分の考えを相手に伝える練習をすることができます。

題材一覧

Lesson	タイトル	言語材料	語数
Lesson 1	Mt. Fuji—a Symbol of Japan (日本の象徴, 富士山)	動詞の現在形・過去形／未来表現／進行形	276
Lesson 2	Sleep in Animals (動物の睡眠)	比較表現／不定詞／動名詞	240
Lesson 3	Nagatomo Yuto — a Long Hard Road to Success (サッカー, 長友佑都選手)	現在完了形／S+V+O[=that 節]／受け身	348
Lesson 4	<i>Kawaii</i> and Japanese Pop Culture (世界に広がるカワイイ文化)	It is[was]+形容詞+to 不定詞／助動詞／関係代名詞	319
Lesson 5	Banana Paper (バナナペーパー)	分詞の形容詞用法／S+V[=be 動詞以外]+C/S+V+O+C[=形容詞]	363
Lesson 6	A Story about Instant Noodles (インスタントラーメン誕生物語)	S+V[=知覚動詞]+O+C[=現在分詞]／助動詞+受け身/S+V[=使役動詞]+O+C[=原形不定詞]	359
Lesson 7	The Earth, Our Home! (国際宇宙ステーションでの経験と地球への思い)	S+appear(s) [seem(s)]+to 不定詞／関係副詞 where / It is[was] +形容詞[名詞]+that 節	386
Lesson 8	Mr. Fija and <i>Uchinaaguchi</i> (危機に瀕する言語の保存・継承活動)	現在完了進行形／関係副詞 when／仮定法過去	412
Lesson 9	The Power to Unite People (南アフリカ共和国, マンデラ大統領)	過去完了形／未来進行形／分詞構文／強調構文	488
Lesson 10	Carving for the Future (世界遺産, サグラダ・ファミリア)	関係代名詞の非制限用法 / S+V+O+C[=過去分詞]／関係代名詞 what	429

2. 対照表

図書の内容	学習指導要領の内容						箇所	配 当 時 間
	第2款		第3款 1		第3款 2	第4款		
	(1)	(2)	使用 場面	働き				
Pre-Lesson 1					イ		p.4	1
Pre-Lesson 2					イ		p.5	1
Pre-Lesson 3					イ		p.6	1
辞書ガイド						2(3)	p.7	1
発音ガイド						2(2)	pp.8-9	1
Tips for Reading		イ					p.10	1
Lesson 1	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	b	c	ウ(カ)	2(1)	pp.12-22	6
Lesson 2	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	c	c	ウ(ア)	2(1)	pp.23-32	6
Lesson 3	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	b	b, e	ウ(カ)	2(1)	pp.35-44	6
Lesson 4	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	c	c	ウ(イ) (エ) (オ)	2(1)	pp.45-54	6
Lesson 5	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	c	c	イ	2(1)	pp.59-68	6
Lesson 6	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	c	b	ウ(エ)	2(1)	pp.70-80	6
Lesson 7	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	c	c	ウ(ウ)	2(1)	pp.83-92	6
Lesson 8	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	c	a, c, d	ウ(ウ)	2(1)	pp.95-104	6
Lesson 9	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	c	b, e	ウ(ク)	2(1)	pp.106-118	8
Lesson 10	ア・イ・ウ・エ	イ・ウ	c	c	ウ(イ)	2(1)	pp.122-132	6
Reading	イ・ウ・エ	ア・イ ・ウ				2(1)	pp.135-142	3
Paragraph Writing 1		イ					p.81	1
Paragraph Writing 2		イ					p.105	1
Paragraph Writing 3		イ					p.134	1
Let's Make a Speech! 1	エ	ア・イ ・ウ	b	c			pp.56-57	2
Let's Make a Speech! 2	エ	ア・イ ・ウ	b	d, e			pp.120-121	2
Sounds Interesting! 1		ア					p.33	1
Sounds Interesting! 2		ア					p.58	1
Sounds Interesting! 3		ア					p.82	1
Sounds Interesting! 4		ア					p.133	1
英語で注文書			a	b, d, e			p.144	1
英語でクレームメール			a	b, d, e			p.145	1
英語でデートの誘い	ア		a	a, b, c, d, e			p.146	1
合計85時間								